

上海優科豪馬橡膠製品商貿有限公司 (YIPSH) CSRレポート

事業内容: 横浜ゴム製工業用品（輸入品・中国国産品）の中国国内販売
敷地面積: 141m²
従業員数: 16名（グループ会社兼務含む、2018年4月現在）
所在地: 中国上海市長寧区虹橋路1452号古北国際財富中心10階

相談・苦情などの受付窓口:

TEL: 021-6236-8811 FAX: 021-5206-7165



社長ご挨拶



西田 敏行

当社は2011年5月に設立された工業品の販売会社であります。2017年4月に上海日本領事館近くのオフィスから統括会社である横浜ゴム（中国）、タイヤの販売会社であるCTSYと同じオフィスに移りました。

私たちよりも先行して操業を開始している工業品の生産会社は、主に日系企業をユーザーとして展開してまいりましたが、当社は中国ローカル企業への拡販が大きな使命です。中国国内生産が可能なものは国産品を、そうでないものは日本からの輸入で対応しております。2014年から工業ゴム製品の需要が落ち込み、

販売拡大の使命が果たせていない状況が続きましたが、去年下期から市況が好転したことで、社員の頑張りによって何とか販売量を伸ばすことができています。中国国内グループ会社の力を借りて更なる飛躍をすることにより、横浜ゴムの優れた製品を中国国内に素早く広げていきたいと考えております。

広い中国ですが、若手の営業スタッフが日々中国全土を飛び回っております。横浜ゴム製品に興味を持っていただけたら一報ください。宜しくお願いします。



組織統治

中国では、贈収賄につながるような「中国流商習慣」の情報をこれまで耳にしており、私たちは健全な組織運営を心がけています。

当社は会社方針として下記を明記しています。
厳格遵守法律法規（厳格遵守社会准则!）
<コンプライアンスの絶対厳守（社会のルールは絶対守る!）>

人権

中国は56もの部族からなる国ですが、その92%が「漢民族」と言われる方々で、他は皆「少数民族」となります。

採用においては男女を問わないのは当然ながら、部族に関しても一切制限していません。

労働慣行

人の定着率が低い中国ですが、補充を含めた採用においては先に記載した通り、性別などの差別なく募集を行っています。

全社員でも20名未満という小さい会社では有りますが、ほかのグループ会社同様に各種規約類を整備した上で、中国の法律にのっとった労働契約を取り交わしています。

採用後は、短期間の集中研修で一通りの説明を行います。コンプライアンスといった重要なテーマに関しては、経営会議等の時間で勉強会を繰り返す様にしています。

当社は工場もなく、少人数の会社ですが、中国におけるホールディングカンパニーである横浜ゴム（中国）と連携をとり、常に災害時の対応などの情報を共有しています。

また、災害時に全中国のグループ会社がつながる連絡網をつくり、中国国内での災害発生が全社員に即座に伝わる体制を整備しています。

同時に中国への出張者を常に把握し、駐在員同様の連絡体制を整えています。

そのほか、上海にある上記ホールディングカンパニーとタイヤの販売会

社とは、合同で健康診断や社員教育などを行っています。

毎年社員旅行を開催しています。2016年度は、温泉一泊旅行を行い、上海蟹を堪能しました。2017年には2泊3日の行程でマカオに行き、水中ショーやポルトガル料理を堪能。自由時間には各自、市内観光、ショッピング、カジノを楽しみました。



社員旅行（マカオ）

人材の活躍推進

当社は小さい会社で新規採用も多くはありませんが、募集を行う際に条件に性別は含まれていません。

営業担当の女性も活躍していますし、2014年の春からは課長職の女性も誕生しています。

また、障がい者の雇用も考えたいところですが、残念ながら実績はゼロです。

環境

横浜ゴムが掲げている環境基本方針を念頭に置いて取り組んでいます。ただし、オフィスビルが賃貸であり、光熱費が家賃に組み込まれているため、データ取得ができない、またゴミの収集にあたっては分別が必要ないなどの問題があります。

また、上海の3社にて、PCや携帯電話・デジタルカメラ等の本体や周

辺部品を専門に回収する業者と連携し、従業員の家庭からもこれらを集め、分別収集する活動も行いました。今では、回収品を衣類や紙にまで広げ、年間を通じて不用品の回収活動を行っています。

「販売」という本業を通じた取り組みとしては、横浜ゴムが推奨する環境に優しい製品の拡販に努めています。

公正な事業慣行

当社の仕入先はすべてグループ会社であり、公正な取引において問題はありません。

公正な事業を行う上で必要不可欠なものが「コンプライアンス順守」であると考えており、当社の方針にも「コンプライアンス順守」を掲げて

います。毎月行われる経営会議にて周知徹底を図っているほか、横浜ゴム（中国）が中心となったコンプライアンス委員会を毎月実施しています。

消費者課題

当社は代理店や商社を通じて販売する形が多くなっていますが、実際に当社の製品を使っていただくユーザーへ直接訪問することを心掛けています。

このことによりユーザーの生の声を聞き、素早く情報が得られるようにしています。



新記録のお祝い

コミュニティへの参画及びコミュニティの発展

会社の場所柄、直接地域社会とのかかわりは持ちにくいのですが、中国グループ会社の「千年の杜」活動や「麗江老君山の自然保護活動」に積極的に参加しています。これまでに村の生産活動の支援として、「蜂養護箱」を贈呈しました。

また、上海の3社にて、PCや携帯電話・デジタルカメラ等の本体や周辺部品を専門に回収する業者と連携し、従業員の家庭からもこれらを集め、分別収集する活動を行いました。



2017年度老君山活動



千年の杜